人の動き（令和4年5月31日現在）　●世帯数…16,359世帯（+15）
●人口…37,131人（+4人）（男18,213人（±0人）／女18,918人（+4人））

広報うみの配布に関する問い合わせは
総務課情報管理係まで
☎932-1111（代）FAX933-7512（代）

広報うみ
◆発行…令和4年6月15日◆編集…宇美町総務課◆印刷…株式会社四ヶ所
〒811-2192 福岡県糟屋郡宇美町宇美五丁目1番1号
☎092-932-1111（代）FAX 092-933-7512（代）
町ホームページ https://www.town.umi.lg.jp/

UD FONT by MORISAWA

ホタルの観賞会

5月29日（日）、原田小学校区コミュニティ運営協議会が主催の、ホタルの鑑賞会が開かれ、163人が参加しました。

毎年この時期には、宇美南町民センター横の川で、ホタルを観ることができます。子どもたちは、発光ブレスレットを身に着け竹灯籠でライトアップされた川沿いを歩きながら、飛び交うホタルを眺めていました。

コロナ禍で体験活動が限られるなか、素敵な思い出になったのではないでしょうか。

▲足元を竹灯篭でライトアップ!

▲受付の準備をする原田小学校区コミュニティの皆さん

問 まちづくり課　共働推進係　☎934-2370　FAX934-2371

宇美町歴史探検 142

―日本遺産構成文化財 国特別史跡大野城跡⑥―

大野城跡の建物群（高床倉庫）に、なぜ稲を蓄え続けたのでしょうか。

この謎を解くヒントは、大宰府政庁前面の溝から出土した木簡（文字が書かれた短冊状の木札）にあります。

この木簡には、基肄城に蓄えていた稲を九州北部の各国へ分け与えることが書かれていました。このことから、天変地異などの非常事態に備えて、稲を蓄えていたと考えられます。つまり、大野城跡の建物群に蓄えられた稲は、対外的な脅威に対する備えだけでなく、当時の九州を安定的に統治するための財源として、税稲を備蓄した倉庫が設置されていたと推測されるのです。

では、なぜ輸送に手間のかかる人里離れた山中に、これほど多くの倉庫を建て、稲を保管していたのでしょうか。

次回はこの内容について説明します。

▼歴史講座を開催します!!

町の歴史について詳しく学びたい人は、ぜひお申込みください。詳細はP5

問 社会教育課　社会教育係
☎933-2600 FAX933-2741

今月の納付期限　町県民税第1期、国民健康保険税第1期　▶6月30日（木）

広告

宇美の織の里
もりおーる 夏の感謝祭
かき氷のふるまいあります♪
日時 令和4年7月2日（土）・3日（日）
2日 9:30～17:00　3日 9:30～16:30
空くじなし・豪華景品あり!大福引大会を開催いたします!!
博多織帯・タオル・アウトレット雑貨など 20～80%OFF!!
イベント情報
宇美町の皆様へ特典 「広報うみを見ました!」の一言で、お客様のご購入時に、粗品をプレゼント!
〒811-2109 宇美町桜原 3-4-7 TEL.092-932-0577

ご贈答用 地方発送承ります！　ご家庭向け商品、無着色切子明太子も、好評販売中！
株式会社 筑前福岡
〒811-2127 福岡県糟屋郡宇美町障子岳3丁目4-16
http://www.092-933-0371.net
ご注文・お問い合わせ先 通話料無料 0120-69-0371
電話受付営業時間（月）～（金）9:00～17:50　7、8、11、12月の土曜は午前中営業

防災行政無線の放送内容を電話で確認できます。▶▶▶ 0120-898-255